

その時歴史が動くか

今度の衆議院議員選挙は、次の二点に於いて誠に意義ある選挙であったと評価しています。

その一つは、国民が、特に若者が、自分の投じた一票で政権が代わる、ことを知り政治に大きな関心を持つ様になったことです。

いま一つは、長年続いた自民党政権による政治の流れが大きく変わったと言うことです。

これらは、日本の将来に大きな期待を抱かせます。

今度の選挙で政治の流れは変わりましたが、これが根付き日本国政史上「その時歴史が動いた」と語り継がれる為には、一つの課題があることを述べたいと思います。

従来の自民党政権は、官僚政治でした。使うべき官僚に政治家が逆に利用されてきました。今の官僚は昔の官僚のように国家、国民の将来など考えておりません。極論すれば、自分達の権益を守るため、退職後の自分達の就職先作りに腐心しております。それは、ここ数年来の厚生労働省に代表される官僚達の悪事を見れば明らかです

これは、自民党政権55年の「積年の弊」であります。今度の選挙で民主党が政権を取ったことでこの流れは変わりましたが、だからと言ってすぐその効果が出るものではありません。

民主党政権になってその効果が出るには、私は、二つのことが重要だと思えます。その一つは、当然のこととして民主党が、そのマニフェスト通り官僚政治を改めるなど公約を確実に早期に実行することであり、いま一つは、国民が改革に必要なリーズナブルな期間、これを見守りまたは支援し、且つ、痛みを耐える寛大さと忍耐力を維持出来るか否かにかかっていると考えます。この国民の理解はとても重要です。私は、民主党に媚びる気など更々ありません。ただ、ただ、この国の将来が不安なのです。子孫に我々の付けを背負わせてはならないと思っているのであります。その為には、今回のこの流れを大事にして国民にとって益あるものにしなければなりません。その為に国民は一つの我慢が必要です。

民主党が政権を取ったからと言ってその期待が大きく即効性を求めるあまり、地に足の付いた改革が出来なくなるとは、元の本阿弥です。流れを変え改革を一定の実りあるものにするには、多くのクリアしなければならない課題があります。甘やかすのではなく、見守り、我慢が求められます。民主党議員は若い、しかも、多くは未経験者です。おおいに勉強が必要です。

私は、ここ数年間は、従来通り自民党政権を維持することよりは、今度、民主党が政権を取り改革を進めることにより、より厳しい生活、痛みを余儀なくされると思っているのです。

良い例があります。小泉総理が郵政民営化を掲げて選挙で大勝利しました。

それが、今回の選挙では郵政民営化は悪の様にとらえ方をする議員がいて国民もこれに賛同しています。私はこれは、違うと思うのです。郵政民営化は、間違いではありません。何故、郵政事業を民営化することが悪いのでしょうか？ 以前、三公社と言って、通信、国鉄、郵政事業、がありました。先の二つは、既に民営化し成功しています。何故、郵政だけがいけないのですかね？

宅配便の「クロネコヤマト」をご覧ください。宅配と言うシンプルな業務ですが、早くて、間違いなくて、そして、親切です。日本列島ならほとんどの地域に翌日届きます。まず、誤配はない、留守だと置手紙し、電話すれば指定時間に再配してくれます。スタッフは、明るくて、誠実で、とても親切です。日本国民はこの宅配便でどれだけ便益を受けるようになったことでしょうか、図りしれません。これができてから郵政も危機を感じてか、業務の質が上がってきました。国がやらなければならない理由は全くありません。

今、色々取り沙汰されているのは、着地に至る手法の問題です。着地に至る道程の問題であって郵政民営化そのことが、間違えているわけではありません。そこは、過渡期だから多少の不便、痛みは我慢し、みんなで作り上げていく気持ちが望まれます。

話を戻しますが、似たようなことを、今回の民主党政権にも言えると思うのです。日本国民は民主党政権を選択した訳だから、ただ流れを変えるだけでなく「その時歴史が動いた」と日本国政史上語り継がれ「実」あるものにするためには、いま、国民には、客観的に、冷静にウォッチングし、多少の我慢も受け入れ、そして、選択した政権を育てる力量が求められていると思うのですが如何でしょう。

外野でただ批判するだけでなく、当事者意識が必要だと思うのです。

これが出来て、日本も初めて欧米並みの民主主義が根づいたと言えるのではないのでしょうか。

以上

平成21年9月9日

アイクス税理士法人 代表社員 飯田昭夫